

東芝テック(株)

現在,エレクトロニクスの急速な進歩によって,本格的なネットワーク社会が始まろうとしています。当社では,ネットワーク社会における情報システムのあるべき姿を“人と機械の共生である”と位置づけています。これまでのような扱いにくい機械に人間が合わせるのではなく,機械が人間に合わせるシステムを開発する”この発想の切替えこそ,時代を拓くキーワードだと考えています。これまでの技術論を超え,人間中心の技術を高めることが求められているのです。

当社では既に,オフィスのインプット・アウトプットを統合し情報を瞬時に管理するファイリングシステムの開発など,ネットワーク時代を変革する新たな製品を世に送り出してきました。このたび,新たに操作パネルやGUI(Graphical User Interface)などに人間中心デザイン(Human Centered Design)を採用した,デジタル複合機 プリマージュ™ 355/455,及び新郵便窓口端末機器“あやめ”を商品化しました。

執行役員 技術本部長 麻田 治男

デジタル複合機 プリマージュ™ 355/455

オフィスが求める高性能を,使いやすく経済的に提供するデジタル複合機(毎分35/45枚機)を開発した。

業界初のIH(電磁誘導加熱)定着によりウォームアップ時間を約30秒に短縮(従来機の1/8)。これにより消費電力を38%削減して,国内省エネ法2006年達成基準をクリアした。

主な特長は,次のとおりである。

- (1) 2,400dpi相当×600dpiの高画質
- (2) 最大6ジョブのコピー先行予約
- (3) オプションのフィニッシャーではパンチ穴明け,中折りと同じも可能
- (4) オプションでスーパーG3-FAX/ネットワークプリンタ/ネットワークスキャナ/I-FAX/PC-FAXにも対応
- (5) 印刷ジョブ管理機能で使いやすさも実現



デジタル複合機 プリマージュ™ 355/455
PREMAGE™ 355/455 digital multifunctional peripheral

新郵便窓口端末機器“あやめ”PF-5000

郵便窓口と後方とのシステム化,既存郵便局各端末踏襲による業務効率・操作性向上ニーズに基づき,ユーザビリティの向上,小型・システム化を図った新郵便窓口端末機を開発した。

エルゴノミクスデザイン採用,GUI技術により使い勝手を向上させ,お客さまを窓口で待たせないシステムを実現した。

オンライン接続により,情報系共有端末などを介しPOSTONS(郵便トータルネットワーク)に接続し郵便情報の一元管理と高度な業務処理が可能となった。オープンアーキテクチャ技術により,ハードウェア及びソフトウェアの互換性,拡張性を向上することができた。



新郵便窓口端末機器 あやめ PF-5000
AYAME PF-5000 postal counter machine